

**製品名: BAI-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07452**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	BAI2
別名	BAI2; Brain-specific angiogenesis inhibitor 2
遺伝子 ID	576.0
SwissProt ID	O60241
免疫原	抗血清はヒト BAI2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

**背景**

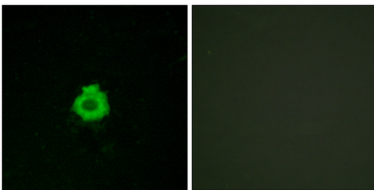
この遺伝子は、セクレチン受容体ファミリーの一員と考えられる 7 回膜貫通型タンパク質をコードしています。このタンパク質は脳特異的に血管新生を阻害します。成熟ペプチドはさらに切断されて新たな産物が産生される可能性があります (PMID:20367554)。

選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 6 月]機能: 血管新生阻害に関与している可能性があります。類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属する。LN-TM7 サブファミリー。類似性: 1 つの GPS ドメインを含む。類似性: 4 つの TSP タイプ 1 ドメインを含む。サブユニット: GABPB2 と相互作用する。組織特異性: 脳で強く発現しています。心臓、胸腺、骨格筋、その他の細胞株でも検出されています。、

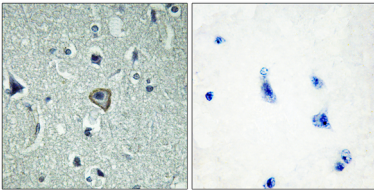
## 研究分野

-

## 画像データ



BAI2 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



BAI2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。